

【東京国立博物館】(計8件)

<絵画> (1件)

1 名称	泰西騎士像 (たいせいきしぞう)	品 質	紙本着色
作者等		員 数	1幅
時 代	江戸時代・17世紀	寸 法 等	縦85.1cm 横38.5cm
作品概要	建物の壁面を背景に長槍を構えた甲冑姿の武人一人を表わす、初期洋風画の作例である。一紙に一人の西洋風騎士像を描く例は、泰西王侯図屏風(重要文化財、6曲1双、長崎歴史文化博物館蔵)や泰西王侯図屏風(6曲1隻、ボストン美術館蔵)のような押絵貼屏風形式の類例があるほか、掛軸装の作品が数点現存し、本作もその一群に属す。長槍を持つ騎士の姿はボストン本の一図とも良く似ており、17世紀初めに日本に輸入された銅版画を手本とした規範的な図様であったと考えられる。人体のプロポーションや立体感などの表現はやや稚拙だが、毛髪や衣、瞳にハイライトを入れるなど丁寧に描写される。後世の補彩も入っているが、下書き線とみられる墨線も見えるなど制作過程を含む成立当初の表現は損なわれていない。初期洋風画は現存例が少なく、貴重な遺例といえる。なお、西村貞『日本初期洋風画の研究』(全国書房、昭和21年)によれば、本図はかつて当館所蔵の泰西騎士像(A-10449)と対幅であった。		
購入金額	35,000,000円		



<彫刻> (1件)

2 名称	金剛力士立像 (こんごうりきしりゅうぞう)	品 質	木造、彩色
作者等		員 数	2軀
時 代	平安時代・12世紀	寸 法 等	阿形 像高279.0cm 吽形 像高275.5cm
作品概要	寺院の仁王門に置かれていた金剛力士像。阿形像は頭部と体部のバランスが取れているが、吽形像は頭部が大きく肥満した体形で作風に差がある。しかし、腕に天衣が絡みつく表現は共通し、一対で造られたものと見て良い。両像とも頭部から体幹部を通してヒノキの一枚材から木取りし、割削いで造る。内割り深く、腕も割っている。吽形像の体幹部材には辺材があり、その年輪年代測定から1173年頃の伐採と判明した。平安時代末期の作と見られる。滋賀県栗東市にあった蓮台寺に伝来、昭和9年の室戸台風で仁王門が倒壊し、この仁王像も大きく損傷した。昭和43年美術院の所有となった。		
購入金額	500,000,000円		



<東洋絵画> (5件)

3 名称	千仏図 (せんぶつず)	品 質	木製彩色
作者等		員 数	1面
時 代	6~7世紀	寸 法 等	高15.7cm 幅73.0cm 奥行7.8cm
作品概要	千仏図の断片。如来が横一列に描かれている。如来はそれぞれ頭と身体の背後にいずれも光背を表す。両手は腹の前で印を結び、両足は蓮の上で結跏趺坐する。板の背面に絵は描かれていない。おそらく本作品は、ホータンに建てられた寺院の長押の一部に描かれていたと考えられる。		
購入金額	6,176,471円		



4 名称	千仏図 (せんぶつず)	品 質	土壁彩色
作者等		員 数	1面
時 代	6~7世紀	寸 法 等	高23.2cm 幅17.5cm
作品概要	壁画断片の左右両側に太く線が引かれており、その中にはひし形に区画され、さらにその中に如来が一尊ずつ縦一列に配置されている。それぞれの如来は頭と身体背後に光背を表す。両手は腹の前で印を結び、蓮の花の上に坐す。おそらく本作品は、ホータンに建てられた寺院の壁面に描かれていたもので、壁画断片の左右両側に引かれた太い線は、仏像の光背の一部であったと考えられる。おそらくその壁面には、塑造で作られた、あるいは壁画に描かれた大きな仏像が存在したと推定される。		
購入金額	4,259,635円		



5 名称	千仏図 (せんぶつず)	品 質	土壁彩色
作者等		員 数	1面
時 代	6~7世紀	寸 法 等	高33.5cm 幅14.0cm
作品概要	壁画断片の左右両側に太く線が引かれており、その中にはひし形に区画され、さらにその中に如来が一尊ずつ縦一列に配置されている。それぞれの如来は頭と身体背後に光背を表す。両手は腹の前で印を結び、蓮の花の上に坐す。おそらく本作品は、ホータンに建てられた寺院の壁面に描かれていたもので、壁画断片の左右両側に引かれた太い線は、仏像の光背の一部であったと考えられる。おそらくその壁面には、塑造で作られた、あるいは壁画に描かれた大きな仏像が存在したと推定される。		
購入金額	4,401,623円		



6 名称	千仏図 (せんぶつず)	品 質	土壁彩色
作者等		員 数	1面
時 代	6~7世紀	寸 法 等	高40.0cm 幅25.0cm
作品概要	壁画断片の左右両側に太く線が引かれており、その内側では如来が一尊ずつ縦一列に配置されている。それぞれの如来は頭と身体背後に光背を表す。両手は衣中であって、印相を露わにしない。蓮の花の上に坐す。おそらく本作品は、ホータンに建てられた寺院の壁面に描かれていたもので、壁画断片の左右両側に引かれた太い線は、仏像の光背の一部であったと考えられる。おそらくその壁面には、塑造で作られた、あるいは壁画に描かれた大きな仏像が存在したと推定される。		
購入金額	6,779,919円		



7 名称	如来坐像 (にょらいざぞう)	品 質	土壁彩色
作者等		員 数	1面
時 代	6~7世紀	寸 法 等	高32.0cm 幅26.0cm
作品概要	如来坐像を描いた壁画の断片。頭と身体背後にそれぞれ光背を表す。両手は腹の前で印を結ぶ。蓮の花の上に坐す。如来の衣は赤く、その着衣の型式は通肩である。おそらく本作品は、ホータンに建てられた寺院の壁面の一部を構成していたと考えられる。		
購入金額	7,596,348円		



<東洋彫刻> (1件)

8 名称	女神像 (じょしんぞう)	品 質	ストウツコ、彩色
作者等		員 数	1軀
時 代	5~7世紀	寸 法 等	高23.0cm 幅17.0cm 奥行8.0cm
作品概要	黒く塗られた頭髪は、中央から左右両側へ分け、頭に宝冠を戴く。首にはネックレスをつける。半袖の薄い衣を着る。袖口のフリルには赤い彩色が、衣には茶色い彩色がうっすらと残る。両腕の上腕より先、腹部の下を欠損する。本作品の背面には尊像の後ろ姿が表現されていないことから、寺院の仏龕に貼り付けられていたと考えられる。		
購入金額	5,786,004円		

